

```
\usepackage{float} \usepackage{tabularray} \usepackage[normalem]{ulem}
\usepackage{graphicx} \usepackage{rotating} \UseTblrLibrary{booktabs}
\UseTblrLibrary{siunitx} \NewTableCommand{\tinytableDefineColor}[3]{\definecolor{#1}{#2}
{#3}} \newcommand{\tinytableTabularrayUnderline}[1]{\underline{#1}}
\newcommand{\tinytableTabularrayStrikeout}[1]{\sout{#1}}
```

政治学概論Ⅰ 《2025》

シラバス

荏谷 千尋

Thursday, 13, Nov, 2025

Ⅰ. 授業の目的

1. ねらい

本授業は、政治学に関する入門的・基礎的知識を学ぶことを目的としています。日々のニュース報道や新聞報道で見聞するように、「政治」は私たちの生活に非常に密着したものです。しかし、政治が具体的にどのような仕組み・メカニズムのもとに成り立っているかは、理解しづらく、私たちを「政治」から遠ざけるひとつの原因となっています。この授業では、政治に関わる基本概念の理解を通して、政治や政策を動かす仕組み・メカニズムについて説明します。

2. カリキュラム上の位置づけ

この授業は、免許法該当科目（教科に関する科目）の「政治学」に分類されている選択必修科目です。

Ⅱ. 授業の到達目標

1. 受講生が、国民主権を中心とした公民分野の基礎的知識を得て、初学者に対してわかりやすく説明することができる。（公民）
2. 受講生が、選挙制度、政党、政治体制といった政治学の基礎的知識を得て、初学者に対してわかりやすく説明することができる。（基礎的関心）
3. 受講生が、政治学の諸概念について、自分なりの視点を加味した、関係図を作成することができる（基礎的関心）
4. 受講生が、政治学ならびに公民分野に関わる基本的な資料、文献を読みこなすことができる。（論理的思考・文献読解能力）
5. 受講生が、1及び2で得た知識を背景に、日々のニュース報道や新聞報道をより深く、また相対的に理解したうえで、自分自身の意見や解釈を、確かな根拠を明示しながら、明快に記述することができる。（論理的思考・記述能力）

Ⅲ. 授業の内容および方法

- ・特設サイトのホームページからご確認下さい

Ⅳ. 授業の進め方

1. スケジュール

- ・初回から第4回目までの授業はオンデマンド配信にて実施します（初回・第2回は12月、第3回・第4回は1月を予定）。それ以降の授業は対面で実施いたします（2026年2月2日（月）から6日（金）を予定）。

2. 講義の進め方

- 授業はスライド資料を用いておこないます。受講生は、各単元に関連する指定文献を事前に読み、それについて要約や感想を書くことが求められます（リーディング・アサインメント（＝文献予習））。また、Googleフォームを用いて、定期的に受講者の授業理解を確認します（授業の感想）。
- 授業はスライド資料を用いておこないます。受講生は、各単元に関連する指定文献を事前に読み、それについて要約や感想、疑問・質問を書くことが求められます（リーディング・アサインメント（＝文献予習））。受講生の関心や疑問を踏まえながら、また、重要な意見や代表的な意見を紹介しながら、授業を進めます。また、すべての回答は一覧表にして配布します。
- 定期的に受講者の授業理解や関心のありようを確認します（授業の感想）。オンデマンド授業は毎回、対面授業の場合は、一日に1回とします。こちらも授業時間内で、重要な意見や代表的な意見を紹介しながら、授業を進めます。こちらも、すべての回答を一覧表にして配布します。

V. 授業キーワード

- 福祉国家
- 国民主権
- 政治制度
- 政治過程
- 政官関係
- 地方自治

VI. テキスト・参考書

1. テキスト

- 使用しません

2. 参考書

- 授業中に適宜紹介します

3. その他授業資料等

- レジюме、スライド資料などの授業資料は、特設ウェブサイト（本ウェブサイト）を通して配布します。リーディング・アサインメントで用いる著作権のある文献についてはMoodleにアップロードいたします。

VII. 成績評価の方法およびその基準

重要

- 授業には3分の2以上の出席を必要とします
- 評価基準は、授業の到達目標に準じます

予習・復習に関する指示

(1) 予習：リーディング・アサインメント

- ほぼ毎回の授業において、内容にかかわる文献を事前に読み、感想や質問を書いて提出して下さい
- 文献の分量は内容によって差はありますが、1時間くらい時間を書けて欲しいと思っています

- 文献、提出先、締め切りについては、特設サイトホームページからご確認ください

(2) 復習：授業の感想と授業アンケート

- 授業内容に関する感想を提出してください
- オンデマンド授業は毎回、対面授業の場合は、一日に1回とします
- 30分くらい復習の時間を取って欲しいと思います
- 文献、提出先、締め切りについては、特設サイトホームページからご確認ください

VIII. 履修上の指導

- 受講に当たり予備知識は必要としませんが、日々のメディア報道など、政治的トピックに関心をもつ人の参加を歓迎します。

IX. オフィスアワー

- 対面授業の期間中は、授業前後に質問、相談に応じます
- この期間以外に、質問・連絡が必要な場合は、社会科教育講座主任の諸岡先生に御連絡ください

X. その他

- 11月中に具体的な授業スケジュールをMoodleを通して連絡しますので、必ず確認してください。また、この授業に関わる特設ウェブサイトのリンクもご案内します。Moodleは基本的な連絡事項を伝えるためにのみ用います。オンライン配信のURLなどの情報はすべて特設サイトに集約しますので、お気をつけ下さい。
- *4年生の受講希望者は、あらかじめ調整役の諸岡先生までご相談をしてください。相談がない場合は受講できない場合があります。